# 【外皮性能】材料設定のシステム定義に登録されている材料について

文書管理番号：1179-01

## Q.質 問

外皮性能計算に標準登録されている材料の熱伝導率について知りたい。

材料設定で標準登録されている材料の熱伝導率は、何をもとにしたものか？

## A.回 答

外皮性能計算の「材料設定」では、各部位（屋根、天井、外壁、床、基礎など）の平均熱貫流率の計算に使用する材料の熱伝導率が、リストで管理されています。

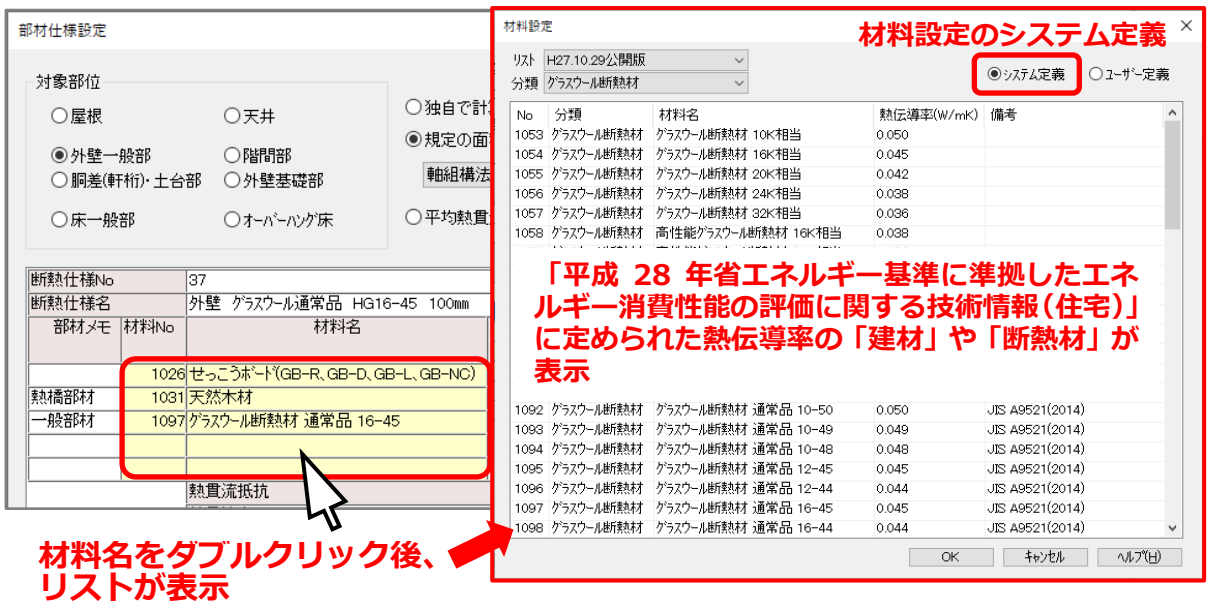
システム定義には、国立研究開発法人建築研究所の「平成 28 年省エネルギー基準に準拠したエネルギー消費性能の評価に関する技術情報（住宅）」に定められた熱伝導率の材料を登録しています。基本的に材料を追加する必要はありませんが、使用する材料がシステム定義にない場合や、同じ材料で熱伝導率が異なる場合は、(外皮仕様設定ツール)の「材料設定」よりユーザー定義に登録が可能です。

材料の登録方法についてはこちらをご覧ください。

[1180]【外皮性能】材料設定に任意の熱伝導率の材料を追加する方法

- **部材仕様設定での材料設定**

  部材仕様設定の画面では、「材料名」または「材料 No」や「熱伝導率 λ」の欄をダブルクリックすると、材料設定の画面が表示され、使用する材料をリストから選択できます。



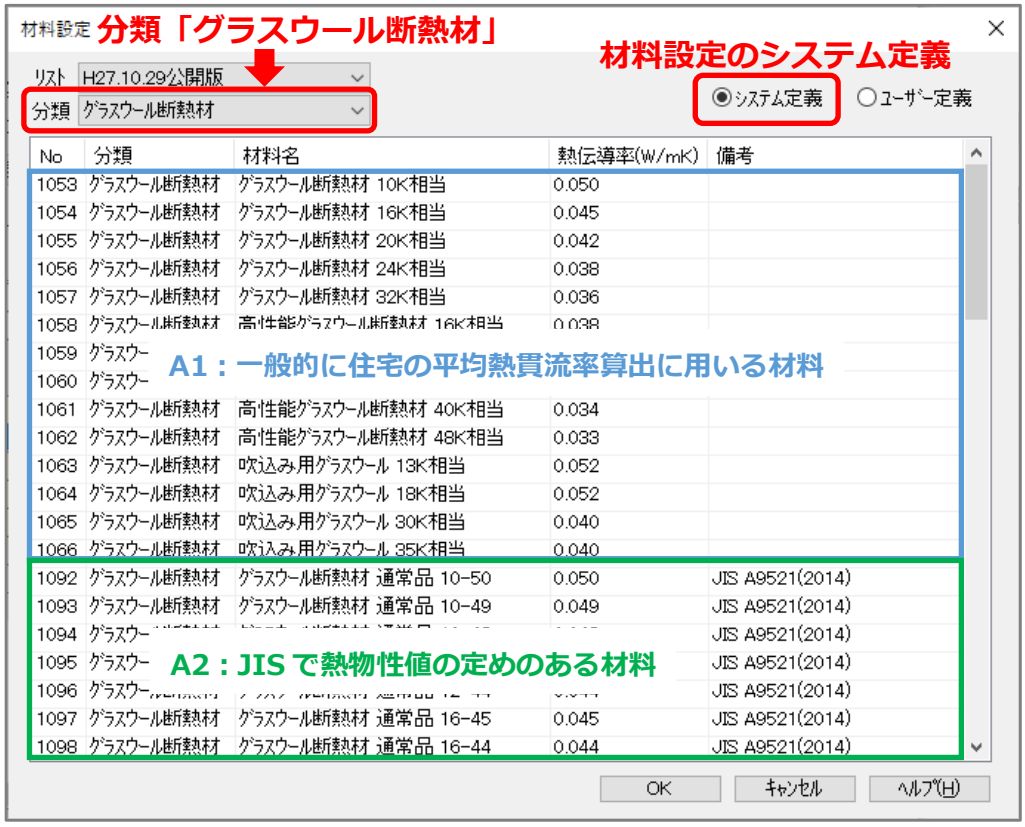
【注意】

平均熱貫流率の計算に使用する材料の熱伝導率ついては、各建材メーカーや各評価機関に確認の上、ご利用ください。

- **分類**

材料設定のリストは、分類ごとに表示を絞り込むことができます。プルダウンリストから分類を選択すると、それに該当する材料名が表示されます。

＊　材料設定の画面を表示すると「(すべて表示)」で表示されます。
　　下図は、分類のプルダウンリストから「グラスウール断熱材」で絞り込みを行った状態です。




＊　システム定義にある材料の編集・削除はできません。

【参考】

システム定義に登録されている材料は、大きく 2 つに分れます。

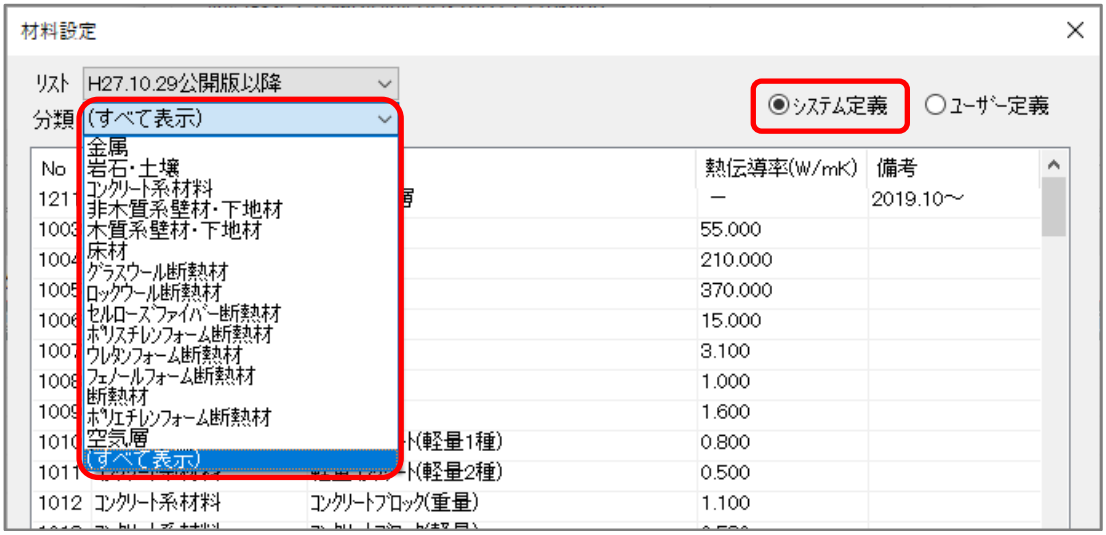
A1：一般的に住宅の平均熱貫流率算出に用いる材料（備考：空欄）

A2：JIS で熱物性値の定めのある材料（備考：JIS 規格番号「JIS A****（20**）」表記）

【材料の分類について】

システム定義の分類には、次のような種類があります。

金属、岩石・土壌、コンクリート系材料、非木質系壁材・下地材、木質系壁材・下地材、床材、グラスウール断熱材、ロックウール断熱材、セルローズファイバー断熱材、ポリスチレンフォーム断熱材、ウレタンフォーム断熱材、フェノールフォーム断熱材、断熱材、ポリエチレンフォーム断熱材、空気層




＊　システム定義にある分類の編集・削除はできません。